

令和3年4月16日

加盟チーム各位

浦和軟式少年野球連盟
理事長 小杉 満

新型コロナウイルス感染症関連に伴うガイドライン

日頃より、連盟事業にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。下記のとおり、感染リスクを極力減らしつつ、With コロナに向けてのガイドラインを策定しましたので通知します。活動に関わる全ての方の健康安全に十分留意され、大会運営を行っていきたいと考えていますのでご協力をお願い致します。

1. チームの活動に際し以下の事項をチーム内で管理すること。

- (1) ソーシャルディスタンス（概ね2m）を取る。呼気が激しくなる際は一層距離を開けること。
- (2) 活動当日は検温し、平熱を越える発熱や咳など、風邪のような症状が見られ、体調が優れない場合の参加は控えさせること。
- (3) 活動（練習）会場にいる全員（保護者含む）の名前を控え、しばらく保管すること。（感染経路追跡の為）
- (4) 休憩時間には、うがい・手洗い・消毒を徹底させ、タオル・飲料の共用はしないこと。
- (5) 可能な限りマスクを着用すること。（指導者・保護者等大人は必須）
- (6) 大声での発声、声援、会話は控えること。
- (7) 団員、保護者に活動に対する説明をしっかりと行い、理解を得ること。
- (8) チーム関係者に感染者が出た場合は連盟へ必ず報告を行うこと。
- (9) 共用道具（ヘルメット、捕手防具等）は都度、消毒を実施すること。

3. 試合時のガイドライン

- (1) ホームベース前での整列は行わず、選手は両チームベンチ前・審判員はホームベース前で相互の礼を行い試合を始める。試合終了時も同様。（密接防止）
- (2) ベンチへは選手、指導者3名(30、29、28)、救護者1名、記録員1名、カメラ担当1名のみとする。
- (3) ハイタッチや握手の自粛、唾や痰を吐くことの禁止、ベンチではマスクを着用する。（飛沫防止）
- (4) 1・3塁コーチはグラウンド上でもマスクを着用する。守備・攻撃時のマスク着用は可とする。（飛沫防止）

- (5) 審判員もマスクを着用する。(飛沫防止)
- (6) 守備側・攻撃側の作戦タイム・選手の交代等の場合は十分距離を置いて話す。(ソーシャルデスタンス)
- (7) 試合終了後は速やかに試合会場からの移動を行う。
- (8) 2 試合目以降のチームは前チームが完全にベンチから撤収したのち、グラウンドへ入ること。
- (9) ベンチ内での応援歌は禁止。ただし、ベンチ内でのメガホン応援(音)を許可する。

4. 感染が確認された場合

- (1) 該当チームの監督は速やかにその旨を連盟に報告すること。
- (2) 保健所の指導を受け、該当チーム関係者の濃厚接触者の確認をすること。
- (3) 該当者は感染の確認が出来た日より 2 週間チームの活動に参加しないこと。
- (4) 該当者はチームの活動に復帰する際、陰性であることを確認(PCR 検査等)すること。
- (5) 保健所の指導により、チームが濃厚接触と判断された場合、選手を含む関係者の PCR 検査を行い、陰性であることを確認すること。
- (6) 保健所の指導により、チームが濃厚接触と判断された場合及びチーム内で複数名の陽性が確認された場合は最後に陽性の確認できた日より 2 週間はチームの活動及び大会への参加は出来ない。大会運営上その期間は不戦敗扱いとする。
- (7) (6)に該当したチームが活動再開する場合は選手を含む関係者の PCR 検査を行い、陰性であることを確認し連盟へ報告をすること。

※新型コロナ感染症に関する当連盟の窓口は総務部(soumu@ubba.jp)とする。

以上